

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	・思いや意向の把握 入居前の希望や意向が、入居してから変わっているのではないかな。	今後の生活の中で、ご本人・家族の希望や意向を聞き、把握し、検討していく。	常日頃よりの会話のなかで、何でも話し、信頼し合えるよう、努力する事と、寄り添いながら、表情や仕草から、家族も交えて本人本位に検討していく。	6ヶ月
2	26	・チームでつくる介護計画とモデリング 職員会議や、ケアカンファレンス時に、ご家族の参加が得られておらず、面会時のご意見を、参考にしている。	3ヶ月ごとの見直しの際には、ご本人、ご家族の意見や要望を取り入れる為に、面会時だけではなく、カンファレンスに参加して頂く機会を設ける。	ケースカンファレンス開催日時は、家族の都合の良い日時に合わせるよう、調整する。	6ヶ月
3	21	・利用者同士の関係支援 入居者同士のトラブルが起きないように職員は、常に寄り添い、見守りしているが、予期せぬトラブルで関係性が壊れてしまう。	利用者同士の会話にも耳を傾け、問題を事前に察するよう、洞察力を持ちケアをして行く。	トラブルの多い入居者のアセスメントをもう一度取り、ひとつずつ問題を潰していき、職員間で、情報の共有を図り、個別対応をしていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。